

2020年1月31日
株式会社みずほ銀行

シンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、沖電気工業株式会社（代表取締役社長執行役員：鎌上 信也、以下「沖電気工業」）が調達を計画するシンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」（※）のアレンジャーに就任し、本日実行しました。

「Mizuho Eco Finance」は、脱炭素社会への移行に向けて、お客さまとともに取り組みを促進していくことを目的に、グローバルに信頼性の高い環境認定や評価等を組み入れた、みずほ情報総研株式会社が開発した環境評価モデルを用いて、お客さまの取り組みや指数をスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し融資を行う環境評価融資商品です。

気候変動への対応の重要性が高まるなか、本件は「Mizuho Eco Finance」をシンジケーション方式で組成することで、当該取り組みに賛同する参加金融機関とともに、沖電気工業の気候変動への取り組みをファイナンス面から支援します。

〈みずほ〉は、沖電気工業が2019年5月にTCFDに賛同していること、サプライチェーン全体でのCO2排出量を開示していること、温暖化防止およびSDGs達成への貢献を掲げた中長期環境ビジョン「OKI環境チャレンジ2030／2050」を策定していること等を評価します。

また、みずほ情報総研は2019年度に沖電気工業より「再生可能エネルギー電力調達等に関するコンサルティング」業務を受託しました。同業務を通じて、沖電気工業が脱炭素化を実現するために必要な手段である再生可能エネルギー電力の調達について、沖電気工業が取り得る調達方法に関する分析を行い、短期および中長期での調達プランの検討を支援しました。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、グループ全体で推進しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

※ 「Mizuho Eco Finance」
2019年6月28日付プレスリリース「『Mizuho Eco Finance』の取扱開始について」
https://www.mizuho.bank.co.jp/release/pdf/20190628release_jp.pdf

<案件概要>

融 資 先：沖電気工業
アレンジャー行：みずほ銀行、三井住友銀行
貸 付 人：みずほ銀行、三井住友銀行をはじめとする国内金融機関
契 約 締 結 日：2020年1月28日
実 行 日：2020年1月31日